汚れの基礎知識

効率よくそうじをするためには、汚れの種類を知って、それに合わせたそうじ法を選ぶのが一番です。軽い汚れのうちなら、手間も少なく材質や環境への悪影響も防げて一石二鳥。水まわりの代表的な汚れを紹介します。

白っぽい水あか

場　所：水栓金具の先端やシンク、吐水が落ちるところ、便器の内側など。
原　因：水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムが、水分の蒸発後に残ってできる。
対処法：**中性洗剤**で落とし、水ぶき+からぶき。頑固な汚れは**スポンジ**に**クリームクレンザー**か**きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー(P17)**をつけて磨き、水ぶき+からぶき。

白っぽいざらざら

場　所：手洗いボウルや洗面ボウル、浴槽の縁。
原　因：「金属せっけん」というもので、せっけんや体の脂肪分が水道水中の金属と反応してできる。
対処法：**中性洗剤**で落とし、水ぶき+からぶき。頑固な汚れは**スポンジ**に**クリームクレンザー**をつけて磨き、水ぶき+からぶき。

ピンク色の汚れ

場　所：トイレや洗面台の排水口や便器の内側、浴室の床や壁。
原　因：せっけんやあかなどを栄養源として、水の中の細菌（バクテリア）が繁殖したもの。
対処法：**中性洗剤**で落とし、水ぶき+からぶき。栄養源となるせっけんかすなどを残さない。

黒ずみ

場　所：便ふたや便座。
原　因：静電気で吸い寄せられた洋服の繊維やトイレットペーパーのチリが、ホコリと結合してできる。
対処法：**十分に絞った柔らかい布**で水ぶき。時々は**台所用中性洗剤**を使う。からぶきは静電気を起こしやすくなる。この汚れに小水が飛び散ったりすると落ちにくい汚れになるので注意。

黒や紫、ピンクのカビ

場　所：浴室の床や壁、キッチンカウンターの境目に使われるシリコーンシール材、便器の内側など。
原　因：湿度が高い場所で、せっけんやあか、汚れを栄養源に繁殖。
対処法：**中性洗剤**で落とす。頑固な汚れには**カビ取り剤**が効果的（使用法は商品の注意書きを参照）。シリコーン材には**割り箸の先に布を巻きつけたもの**に**住宅用弱アルカリ性洗剤**をつけてこすり、水ぶき+からぶきをする。

もらいさび

場　所：浴槽や洗面台、キッチンのカウンターなど。
原　因：ぬれたヘアピン、カミソリ、スプレー缶などをカウンターに放置したため。
対処法：**スポンジ**か**歯ブラシ**に**クリームクレンザー**をつけて、表面を傷つけないように落とし、水ぶき+からぶき。

光沢のくすみ

場　所：操作パネルやドアノブ、肌が直接触れる便座など。
原　因：肌が直接触れる部分は皮脂汚れがつきやすく、ぬるぬるしたり、光沢がなくなったりする。そこにホコリが付くと、黒ずみの原因に。
対処法：**十分に絞った柔らかい布**で水ぶき。

ヌメリ

場　所：排水口や排水口トラップ、ゴミ収納バスケットなど。
原　因：細菌やカビなどの微生物がかたまりになってできる。
対処法：**中性洗剤**をつけて洗う。細かいところは**歯ブラシ**などを利用する。こまめに汚れを落として、栄養源を絶つ。

基本の洗剤

**ふだんの汚れは中性洗剤で十分ですが、
ひどくなると、こびりつきはクリームクレンザー、
水あかは酸性系、油汚れはアルカリ系…と
洗浄力の強いものが必要になってきます。
強い洗剤は、ラベルの注意書きをよく読んで使いましょう。**

トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）

黄ばみや黒ずみなどの汚れに適した成分が含まれています。便器やタンクに使います。

住宅用中性洗剤

手あかやホコリ、軽い油汚れなどに適しています。キャビネット、ドアノブなど住まい全般に使えます。

住宅用弱アルカリ性洗剤

壁や床、家具などの一般的な汚れに効果的。用途に合わせて、水やぬるま湯で薄めて使用します。

浴室用中性洗剤

せっけんかすなどに強い成分が含まれています。洗剤が残ると変色の原因に。肌の弱い人は台所用中性洗剤で代用できます。

台所用中性洗剤

キッチンのほか、浴室やトイレの中性洗剤の代わりとしても使えます。洗剤が残ると変色の原因となるのでよく洗い流してください。

油汚れ用弱アルカリ性洗剤

特に油汚れに対する分解力が強い洗剤です。スプレー後、長時間そのままにしたり、洗剤が残ってしまうと変色やさびの原因になるので、よくふき取ってください。

クリームクレンザー

弱アルカリ性の微粒子で、こびりついた汚れを研磨して落とします。こすり過ぎると素材が傷つくことがあるので注意してください。

酸性・アルカリ性・塩素系洗剤

中性よりも強力な洗剤です。使用方法をよく読み、ゴム手袋などをして使います。塩素系と酸性は絶対に混ぜて使わないでください。

カビ取り剤・パイプ用洗浄剤・ふろ釜用洗浄剤

アルカリ性の洗剤です。洗剤成分が残ってしまうと変色やさびの原因になるので、よく洗い流してください。

食用酢

ついてすぐの汚れには効果的で、殺菌効果も期待できます。においがきついので薄めて使用してください。

重曹

粒子が細かく、傷がつきにくいため、コーキングの黒ずみやシンクの水あかなどに適しています。脱臭剤として置くのも効果があります。

! 注意

日常用の中性洗剤以外は、誤った使い方をすると、商品を傷めてしまうことがあります。使用前はラベルの注意書きをよく読んで正しくお使いください。とくに「酸性」「アルカリ性」「塩素系」の表示があるものは、強力な洗剤です。表面が変色したり、シミになるおそれがあります。また、カビ取り剤などのアルカリ性洗剤は、使用法によっては人体に影響を及ぼすおそれもあるので、注意が必要です。

- あらかじめ目立たない場所で試してからご使用ください。必要時のみに使用し、常用は避けましょう。
- 洗剤は混ぜ合わせて使わないでください。とくに塩素系のものと酸性のものは併用すると塩素ガスを発生して危険です。絶対におやめください。
- お手入れ後は洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 使用中は十分に換気をしてください。
- 使うときはゴム手袋の着用をおすすめします。

トイレのおそうじ

Toilet

トイレは「汚れになる前にそうじをする」ことが大切。使うたびに、手の届く範囲をサッとひとふきしたり、水を流しながらトイレブラシでこすったりを習慣にしてしまいましょう。特にこぼれた小水は、乾いてしまうと悪臭の元になるので、すぐふき取ってください。

汚れ 1 ウォシュレット

柔らかい布、綿棒、歯ブラシ、台所用中性洗剤

＜ウォシュレット本体＞

- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で便座の表面をふきます。
- 同様に便ふたの表裏と便座の裏側をふきます。

★ 汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った柔らかい布に台所用中性洗剤をつけてふき、水ぶきします。

＜便座・便ふたのすき間＞

便座とウォシュレット本体の間は小水が入り込んで黄ばんだ汚れがつき、悪臭の原因になりやすいところです。時間があるときには外してそうじしましょう。

- 便座・便ふた着脱で取り外します（取り外し方・つけ方は取扱説明書をご覧ください。商品によっては便座を取り外せません）。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布に台所用中性洗剤をつけてふき、水ぶきします。細かいところは、綿棒を使います。

＜ノズル＞

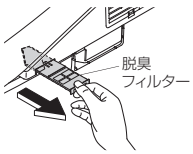
- ノズルおそうじ機能付のものは、電源を入れて「ノズルそうじ入／切」スイッチを押し、ノズルを出します。
- 通常は水ぶきで十分。汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った柔らかい布に台所用中性洗剤をつけてふき、水ぶきをします。

- スイッチを押してノズルを収納します。

＜脱臭フィルター＞

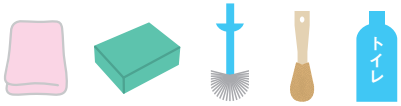
- 電源プラグを抜き、脱臭フィルターを取り外します（取り外し方・つけ方は取扱説明書をご覧ください）。
- 通常は歯ブラシなどで水洗いし、取り付け前に水気を取ります。
- 脱臭フィルターを取り付け、プラグを差込みます。

★ 汚れや目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。交換部品については、取扱説明書やメーカーホームページよりご確認ください。



「ウォシュレット」はTOTOの温水洗浄便座の登録商標です。

汚れ2 便器



柔らかい布、スポンジ、トイレ用ブラシ、靴用ブラシ、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）

- 中性洗剤をブラシにつけ、内側とフチ裏をこすり洗いします。届きにくい場合は靴用ブラシで、傷つけないようにやさしく洗います。
- 水でぬらして固く絞った布に、中性洗剤をつけてフチの裏側をふきます。
- トイレ用ブラシやスポンジでこすり洗いしたのち水洗いします。

★水あかなどひどい汚れの場合、汚れがついた部分の水分をふき取り、トイレ用中性洗剤を汚れに直接かけます。トイレ用ブラシやスポンジでこすり洗いしたのち、水洗いします。

★吐水口まわりが汚れた場合は、歯ブラシなどでこすり洗いしてください。

！注意

便器そうじに使った洗剤が、ウォシュレット（プラスチック部）についてしまったときは、水でぬらして固く絞った柔らかい布でしっかりふき取ってください。

汚れ3 手洗い・水栓金具

柔らかい布、スポンジ、歯ブラシ、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

- 表面に付着しているホコリやゴミをタンク内に落とさないように取り除きます。
- スポンジなどで水洗いをします。

★水あかなどひどい汚れの場合、止水栓を閉めて、タンク本体から手洗い鉢を外します。汚れがついた部分の水分をふき取り、トイレ用中性洗剤を汚れに直接かけトイレ用ブラシやスポンジでこすり洗いしたのち水洗いします。手洗い鉢をタンク本体に取り付け、最後に止水栓を開けてください。

！注意

- 手洗い鉢を外してお手入れする場合は、お手入れする前に必ず止水栓を閉めてください。止水栓を閉めないで作業をすると機外に漏水する可能性があります。
- タンク本体に手洗い鉢を取り付けたまま作業を実施するとタンク内にトイレ用中性洗剤が入り、内部部品を傷め故障の原因になることがあります。
- トイレ用中性洗剤がタンク内に入ってしまったときは、便器洗浄操作により、タンクの水を入替えてください。そのままにしておくとタンクの内部部品を傷め、故障の原因になることがあります。
- 特に酸性・アルカリ性洗剤はタンクの内部部品を傷め、故障の原因になる可能性が非常に高くなりますので、タンク内には入れないようにしてください。

汚れ4 床

柔らかい布、洗剤つきウェットペーパー、割り箸に布を巻いたもの、住宅用中性洗剤

小水がこぼれたものが乾くと悪臭の元になるので、こまめにチェックするようにしましょう。

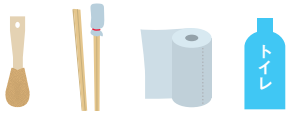
- 洗剤つきウェットペーパーか水でぬらして固く絞った布に中性洗剤をつけたものでふきます。
- 割り箸に布を巻いたもので、便器と床のすき間の汚れや水分を取り除きます。
- 水ぶきし、からぶきします。

！注意

- ウォシュレットやウォームレットには、電子部品が入っているので水をかけるのは厳禁です。
- プラスチック素材が使われているため、酸性やアルカリ性の洗剤でふくと割れるおそれがあります。
- 乾いた布でふかないでください。便座・便ふたなどの表面に傷がつく原因になります。また、静電気でホコリを吸い寄せてしまいます。
- ノズルの先端を無理に引っ張り回したりしないようにしてください。

Help!

便器に黄ばみや輪ジミができてしまった！



靴用ブラシ、割り箸に布を巻いたもの、キッチンペーパー、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）

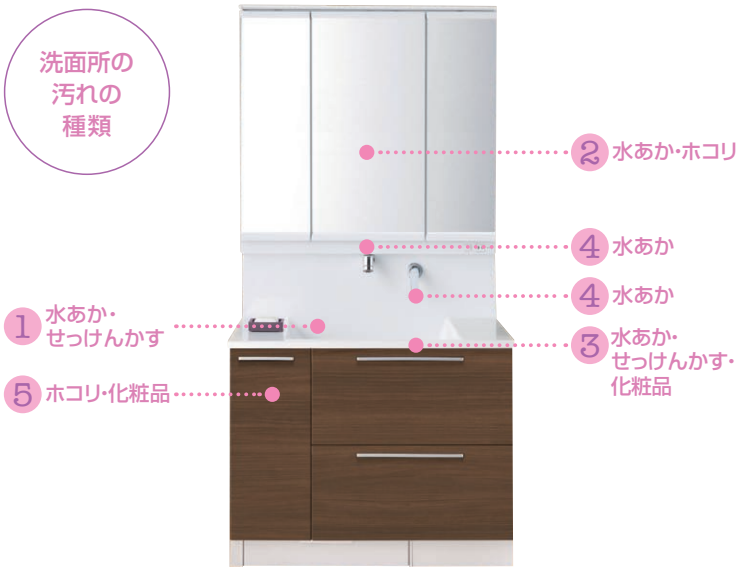
- 洗面器などに中性洗剤を入れ、キッチンペーパーをひたし、汚れの部分に張りつけて3分おきます。ウォシュレットにはつけないように注意してください。
- ペーパーをはずして、ブラシでこすり洗いし、洗剤成分を流します。

- 落ちないときは、割り箸に布を巻いたものに中性洗剤をつけて、少しずつこすって落とし、仕上げに水を流します。

「ウォシュレット」はTOTOの温水洗浄便座の登録商標です。

洗面所のおそうじ Groomingroom

洗面ボウルやカウンターがくもってくるのは、水あかやせっけんかすが原因です。使った後に飛んだ水しぶきやせっけんをふき取るのをクセにしてしまいましょう。カウンターにものを置きすぎるのもそうじが面倒になる原因。キャビネットの中も70%収納が目標です。



汚れ 1 洗面ボウル

柔らかい布、スポンジ、歯ブラシ、浴室用中性洗剤

<ボウル>

- ふだんは使ったあと、サッと水で流し、からぶきします。
- ★時々は、スポンジに中性洗剤をつけて円を描くように洗い、水ぶきして、からぶきします。

<オーバーフロー穴>

- オーバーフロー穴(洗面ボウルに水があふれないようについた小さな排水口)についている黒ずみは、歯ブラシに中性洗剤をつけて洗い、水ぶきして、からぶきします。

<ワンプッシュ排水ボタン>

- ワンプッシュ排水ボタンを取り外し、歯ブラシでこすり洗いします。

<ヘアキャッチャー>

- 排水口の栓をつまんで取り出し、ヘアキャッチャーにたまったゴミや毛髪を取り除き、歯ブラシでこすり洗いします。

! 注意

それでも排水の流れが悪いときは、市販の配管洗浄剤をご使用ください。その際は、商品の使用方法をよくご覧ください。

汚れ 2 鏡

<一般の鏡(エコミラー以外)>

柔らかい布、ガラス用洗剤

- ふだんは、布で水しぶきをふき取るのを習慣にしましょう。
- ★くもってしまったら、十分に絞った布に洗剤をつけて磨きます。

<エコミラー>

柔らかい布、台所用中性洗剤

- ハンドタオルやフェイスタオルなどのきれいな柔らかい布におよそ5倍に薄めた台所用中性洗剤(無色透明の食器用)をつけて軽くふきます。

※ご使用の鏡がエコミラーかエコミラー以外かが分からない場合は、取扱説明書をご確認ください。

汚れ3 カウンター

柔らかい布、スポンジ、浴室用中性洗剤

- ふだんは使ったあと、サッと水で流し、からぶきします。とくに洗顔料や化粧品の中には、ついたままにしておくとカウンターの材質を傷めるおそれがあるものもあるので、つけたらすぐに洗い流しましょう。
- ★時々は、スポンジに中性洗剤をつけて円を描くように洗い、水ぶきして、からぶきします。
- ★油性の汚れが取れないときは、エチルアルコール（薬用アルコール。薬局で購入できます）でふいてください。

※クリスタルカウンターについては、P13をご参照ください。

！注意

- シンナーやベンジンなどの溶剤、酸性やアルカリ性の洗剤は、変色や変質の原因になるので使用しないでください。
- たわしや研磨剤入りの洗剤を使うと、傷の原因になります。ふだんのお手入れには使用しないでください。

汚れ4 水栓金具

柔らかい布、スポンジ、キッチンペーパー、歯ブラシ、浴室用中性洗剤、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

＜ふつうの水栓＞

- ふだんは使うたびにからぶきします。
- ★時々は、スポンジにクリーナーをつけて磨き、洗い流して、からぶきします。
- ★根元にピンクの汚れがついていたら、スポンジでサッと汚れを落としてキッチンペーパーを敷き、中性洗剤をスプレーします。10～20分ではずし、水ぶきして、からぶきをします。

＜シャンプー水栓＞

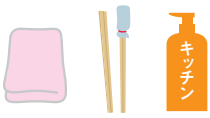
- ホースや取っ手は、スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水ぶきして、からぶきします。
- 散水板（網目）のゴミを歯ブラシでこすり落とし、元の位置に戻します。シャワーヘッドの形状によって散水板の取り外し方法が異なるため、水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

散水板

！注意

- 必ずゴム手袋をはめてください。
- 中の部品を落とさないように、洗面ボウルの排水栓は閉めておきましょう。

汚れ5 キャビネット



柔らかい布、割り箸に布を巻いたもの、台所用中性洗剤

- 十分に絞った布に中性洗剤をつけてふき、水ぶきして、からぶきします。
- 細かい部分は、割り箸に布を巻いたものを使います。
- ★洗顔料や化粧品の中には、ついたままにしておくと材質を傷めるおそれがあるものもあるため、つけたらすぐにふき取りましょう。

Attention!

ヘアカラー類はすぐふき取って！

ヘアカラーやヘアマニキュア、ヨードチンキ·うがい薬などは、シャンプー式水栓のついた洗面化粧台で使うことも多いはず。でも溶剤の中には、洗面ボウルに付着したままにしておくと、変色や変質の原因となるものもあります。つけてしまったら、すぐに洗い流すのを習慣にしてください。

浴室のおそうじ Bathroom

浴室のお手入れはその日のうちにしたいもの。
最後に入浴した人が、熱いシャワーで壁や床を洗い流し、
浴槽の湯あかをスポンジで洗い流します。
仕上げに冷たいシャワーをかけて熱気がこもらないようにし、
できるだけ長く換気扇を回して換気をしましょう。

浴室の汚れの種類

汚れ 1 浴槽

柔らかい布、スポンジ、歯ブラシ、浴室用中性洗剤

● 入浴後、スポンジでこすり洗いします。熱いシャワーをかけた後、冷たいシャワーをかけ、水滴をふきます。

★ こびりついた汚れは、中性洗剤をかけて2〜3分おいてからスポンジでこすり洗いしたのち水洗いして、水滴をふきます。

! 注意

- 洗剤の流し残りはシミの原因になります。
- 洗剤を流した後は、固く絞った布でしっかりふいてください。そのままにしておくと輪ジミの原因になることがあります。

赤茶けた汚れがついた（もらいさび）

原因

ヘアピン、カミソリ、スプレー缶、鉄くず等を浴室に放置するとさびが発生します。

浴槽についたもらいさび

落とし方

さびとり専用剤、さびも落とせる万能洗剤、浴室用クリームクレンザーのいずれかを使って、柔らかいスポンジでこすり落とします。

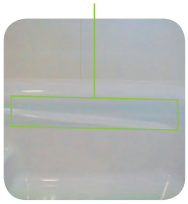
青いスジ状の汚れがついた（銅石けん）

原因

給湯機内部や配管に使われている銅管からわずかに溶け出した銅イオンと、せっけんやあかに含まれる脂肪酸が反応してできます。

※銅イオンは、単独では青く染まりません。人体への影響もありません。

銅イオン



落とし方

浴室用クリームクレンザーを柔らかいスポンジにつけ、浴槽表面をやさしくこすり落とします。

汚れ2 鏡

柔らかいスポンジ、浴室用中性洗剤、お手入れらくらく鏡クリーナー（一般の鏡のみ使用）

● 柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけてこすり洗いします。水洗いしたあと、柔らかい布でからぶきします。

★ こびりついた汚れには、お手入れらくらく鏡クリーナーか浴室用クリームクレンザーをつけてふき、洗い流して、からぶきします。

！注意

- 鏡クリーナーや浴室用クリームクレンザー等の研磨剤入りの洗剤は、ハイドロミラー、くもり止め機能付き鏡、お掃除ラクラク鏡等、表面加工を施している鏡には使用しないでください。鏡の種類に関しては、鏡の表面やラベルの表記をご覧ください。
- 誤ったおそうじを行うと、水あかや金属せっけんがつき落とせなくなったり、くもりやすくなったりするので、注意してください。

汚れ3 床

柔らかい布、浴室用ブラシ、浴室用中性洗剤、浴室用クリームクレンザー

＜一般の床＞

● ふだんは、入浴後に熱めのシャワーでせっけんかすなどを洗い流し、冷水シャワーをかけます。水滴をふき取ればよりキレイを保てます。

★ 時々は、中性洗剤でこすり洗いをします。

★ 床のしつこい汚れは、ブラシにクリームクレンザーをつけて、軽くこすり洗いします。せっけんかすが残るとカビの原因になるのでよく洗い流し、水気をふき取ります。

「床のお手入れ」の動画を見る
携帯でQRコードを読み取ってURLへアクセスしてください。
パソコンからは下記URLへアクセスしてください。
http://toto.com/mjy6t
※通信料はお客様のご負担となります。※携帯電話の機種によっては、動画を再生できない場合があります。あらかじめご了承ください。

＜一般の床以外＞
（カラリ床・ソフトカラリ床・ほっカラリ床）

部分的に水が残ったり、乾きが悪くなったら

原因
表面の油分や汚れで水の流れが悪くなります。

落とし方
浴室用クリームクレンザーとブラシでこすり洗いします。

汚れ4 排水栓・排水口

柔らかい布、歯ブラシ、浴室用中性洗剤

＜ワンプッシュ排水栓＞

● 排水ボタンを押して開き、排水栓を真上に持ち上げて栓を外します。歯ブラシや綿棒でゴミや髪の毛を取り除きます。

「ワンプッシュ排水栓のお手入れ」の動画を見る
携帯でQRコードを読み取ってURLへアクセスしてください。
パソコンからは下記URLへアクセスしてください。
http://toto.com/asdfg
※通信料はお客様のご負担となります。※携帯電話の機種によっては、動画を再生できない場合があります。あらかじめご了承ください。

＜ゴム栓＞

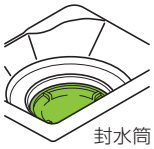
● つまみをつかんでフィルターを外し、歯ブラシや綿棒でゴミや髪の毛を取り除きます。

＜床排水口＞

● 排水トラップのカバーを外し、目皿を取り出してゴミや髪の毛を取り除き、歯ブラシでこすり洗いします。落ちにくい場合は、中性洗剤をつけます。

● 洗剤成分を洗い流し、元の位置にセットします。

★ 悪臭がする場合は、ヘアキャッチャーを外したところにある封水筒に水がたまっているか、封水筒が外れていないかをチェックしてください。きちんとはまって水がたまっていれば、下水管のにおいが上がってくることはありません。



「床排水口のお手入れ」の動画を見る
携帯でQRコードを読み取ってURLへアクセスしてください。
パソコンからは下記URLへアクセスしてください。
http://toto.com/kjhgf
※通信料はお客様のご負担となります。※携帯電話の機種によっては、動画を再生できない場合があります。あらかじめご了承ください。

汚れ5 水栓金具

柔らかい布、スポンジ、浴室用中性洗剤、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

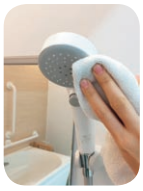
● ふだんはシャワーで洗い流し、布で水気をふき取ります。

★ 時々は、スポンジに中性洗剤をつけてこすり、洗い流して、からぶきします。

★ こびりついた白い汚れ（金属せっけん）は、スポンジにクリーナーをつけて軽くこすり、洗い流して、からぶきします。

＜シャワーヘッド＞

★ 「シャワーヘッド」「オーバーヘッドシャワー」はぬるま湯に浸した布をよく絞って、ノズルを傷つけないように、軽く汚れをふき取ります。



！注意

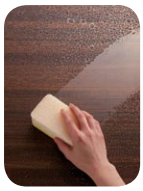
- 強い力でふいたり、こすると、ノズルが変形したり破損するおそれがありますのでやめましょう。
- シャワーヘッドを浴槽など水中に没めると機能を損なうことがありますので、やめましょう。

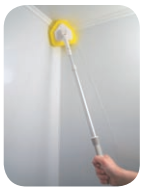
汚れ6 壁、天井 など

柔らかいスポンジ、浴室用中性洗剤

● ふだんは、入浴後に熱めのシャワーでせっけんかすなどを洗い流し、冷水シャワーをかけます。水滴をふき取ればよりキレイを保てます。

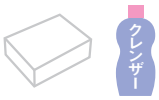
★ 時々は、柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけてこすり洗いしたのち水洗いします。手が届かないところは柄付きスポンジを使用すると便利です。





汚れ7 手すり、他

＜メタル（ステンレス）タイプ＞



メラミン系スポンジ、浴室用クリームクレンザー

● シャワーで洗い流したあと、柔らかい布でからぶきします。

★ 汚れが気になるときは、メラミン系スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけこすり洗いします。洗剤成分を洗い流し、水滴をふき取ります。

！注意

- メラミン系スポンジはメタルバー以外には使用しないでください。傷の原因やツヤがなくなることがあります。

＜樹脂タイプ＞

キッチンペーパー、スポンジ、浴室用中性洗剤

● スポンジに浴室用中性洗剤をつけこすり洗いしたのち水洗いします。

★ こびりついた汚れは、手すりをぬらしてキッチンペーパーを貼り、浴室用中性洗剤をまんべんなくふりかけて20分ほどおきます。洗剤成分をしっかり洗い流し、最後は水滴をふき取ります。

！クリームクレンザーや高性能スポンジに注意

- クリームクレンザーなど研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけてしまうおそれがあるので、ひんぱんに使うのはやめましょう。
- 高性能スポンジや両面スポンジの固い面、ネットつきスポンジを使うと、かえって表面を傷つけることがあります。お手入れには、一般的なポリウレタン製の柔らかいスポンジがおすすめです。

カビの防ぎ方

温度を下げる
カビの活動に最適な室温は20～30℃。入浴後は冷水シャワーをかけ、温度を下げましょう。

湿度を下げる
カビは湿度70%くらいでもっとも繁殖します。入浴後2時間以上は換気扇を回すか、窓を開けて換気をしましょう。浴槽は必ずふたをして。できればお湯を抜いてしまうのがベストです。

栄養源を絶つ
湯あかやせっけんかすはカビの好物。最後に入浴した人は、さっと洗い流すようにしましょう。

Help!

カビがついてしまった!

キッチンペーパー、スポンジ、カビ取り剤

- カビの部分にキッチンペーパーを張りつけ、カビ取り剤をスプレーします。
- 5分ほどおいてからペーパーをはがし、スポンジでこすってから、シャワーなどで十分に洗剤分を洗い流します。

! 注意
- カビ取り剤は取扱説明書をよく読んで使用してください。
- そうじ中は十分に換気をし、ゴム手袋を着用してください。
- カビ取り剤はスプレーしてから長時間放置すると、金属がさびる場合があります。カビ取り剤の取扱説明書に従ってください。

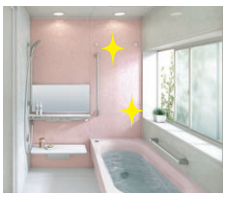
TOTOのホームページには、浴室のお手入れおそうじの際の「おすすめお手入れ用品や洗剤」をご紹介しています。

「おすすめお手入れ用品や洗剤」
http://www.toto.co.jp/water/bath/senzai.htm

浴室のおそうじはプロにおまかせ!
http://www.tom-net.jp/

＜浴室クリーニングパックのご案内＞

メーカーのプロによるクリーニングはいかがですか?
落としづらい汚れなど、お気軽にご相談ください。
クリーニング時にも器具の作動点検を
行いますので安心です。
全国どこへでもお伺いを致します。
※離島につきましては一部料金をご負担いただきます。


※写真はイメージです。

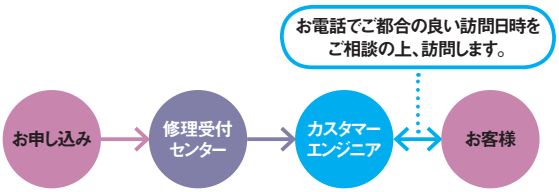
＜その他:クリーニングのご案内＞

トイレクリーニングパック

洗面クリーニングパック

キッチンクリーニングパック

＜お申し込みから訪問まで＞



TOTOメンテナンスの認定した
カスタマーエンジニアがお伺いします。

●保証期間中の商品について
保証書の記載内容に基づき無料修理をさせていただきます。（有料となる場合もございます）

●保証期間を過ぎた商品について
修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理させていただきます。但し、補修用部品の保有期間を経過している商品は、修理ができない場合がございます。

キッチンのおそうじ　Kitchen

油汚れがつくキッチンそうじのポイントは、
汚れをそのままにしないで余熱が残っているうちにふき取ること。
こびりついてしまった汚れは、いきなり洗剤をつけても取れないので、
ぬるま湯をかけたり、つけ置きしたりして汚れをゆるめるのがコツです。

汚れ 1 シンク・排水口

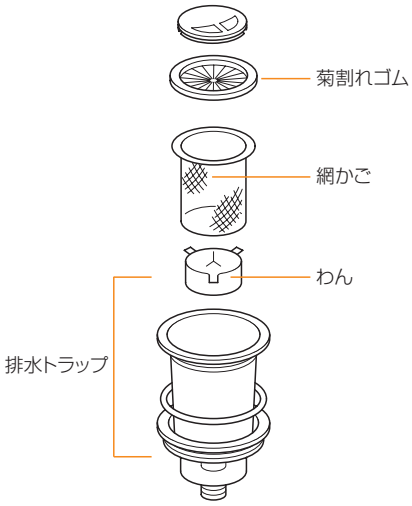
柔らかい布、スポンジ、歯ブラシ、台所用中性洗剤、クリームクレンザー、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

<シンク>

- ふだんはぬらしたスポンジに中性洗剤をつけて磨き、洗い流して、からぶきします。
- ★ステンレスのくもりは水あかが原因。スポンジにクリーナーかクレンザーをつけて磨き、洗い流して、からぶきします。

<排水口>

- 菊割れゴムを外し、スポンジに中性洗剤をつけてこすり洗いをします。
- 網かごは、スポンジで洗ってから、歯ブラシで網目をこすり洗いします。
- 排水トラップとわん、排水口の内側も歯ブラシでこすり洗いし、ヌメリを取り除きます。
- たっぷりの水で洗剤や汚れを洗い流し、元通りにセットします。
- ★排水口の形状によっては、部品やおそうじの方法が異なりますので、キッチンの取扱説明書をご確認ください。

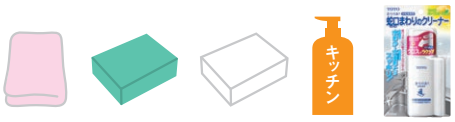


汚れ2 水栓金具

柔らかい布、歯ブラシ、クリームクレンザー、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

- ふだんは、水ぶきで汚れを取り、からぶきします。
- ★根元についたしつこい汚れは、歯ブラシにクリーナーかクレンザーをつけて磨き、洗い流して、からぶきします。

汚れ3 カウンター



柔らかい布、スポンジ、メラミン系スポンジ、台所用中性洗剤、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

<クリスタルカウンター>

- 布かスポンジに中性洗剤をつけてこすります。
- 落ちにくい汚れや擦り傷は、メラミン系スポンジに水をつけて軽くこするように磨きます。
- 固く絞った布でふき取り、からぶきします。

<人工大理石・メラミンカウンター>

- 布かスポンジに中性洗剤をつけてこすります。
- メラミン系スポンジに水をつけて軽くこするように磨きます。
- 固く絞った布でふき取り、からぶきします。

<ステンレスカウンター>

- ぬらしたスポンジに中性洗剤をつけてこすります。
- 落ちにくい汚れはクリーナーをつけ、磨いて落とします。
- 固く絞った布でふき取り、からぶきします。

汚れ4 壁

柔らかい布、スポンジ、キッチンペーパー、歯ブラシ、台所用中性洗剤、油汚れ用弱アルカリ性洗剤、クリームクレンザー

- ふだんは、調理が終わったら、固く絞った布でふいて、からぶきします。

<キッチンパネル>

- 布に中性洗剤をつけてふき、水ぶきして、からぶきします。

<タイル壁>

- キッチンペーパーを壁にあて、弱アルカリ性洗剤をスプレーします。
- 汚れが浮いてきたら、スポンジでこすります。
- 目地部分は、歯ブラシにクレンザーをつけて磨きます。
- 固く絞った布でふき取り、からぶきします。

汚れ5 床

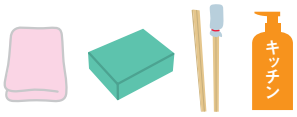
柔らかい布、ペーパーモップ、住宅用弱アルカリ性洗剤

- ふだんは、固く絞った布でふきます。
- ★時々は、弱アルカリ性洗剤を水で薄めた液に布をひたして固く絞り、ペーパーモップに巻きつけてふきます。水ぶきして、からぶきで仕上げます。

! 注意

クッションフロアは、接着部分や端に水がしみこむと、はがれの原因になることがあります。水ぶきは固く絞った布でしてください。フローリングは、よく乾かしてから、ワックスをかけましょう。

汚れ6 キャビネット



柔らかい布、スポンジ、割り箸に布を巻きつけたもの、台所用中性洗剤

- カウンターをふくついでに、水ぶきして、からぶきをします。取っ手などの細かい部分は、割り箸に布を巻きつけたものを使います。
- カビ予防のために、時々、扉を開けて風を通します。

★時々は、中のものを全部取り出し、固く絞った布に中性洗剤をつけてふきます。洗剤成分が残らないように、水ぶきして、からぶきします。

★プラスチックトレイにつく縞模様などの汚れは、静電気でホコリ同士が呼び合ったもの。スポンジに中性洗剤をつけて洗い流し、水気をふき取ってください。

汚れ7 コンロまわり

柔らかい布、スポンジ、歯ブラシ、竹串、台所用中性洗剤、クリームクレンザー、きらりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー

<プレート>

- ふだんは、温かいうちに絞った布でふき取り、さび防止にからぶきします。

★汚れがひどいときは、スポンジに中性洗剤をつけて円を描くように磨きます。水ぶきして、からぶきします。

<ゴトク・汁受け皿>

- シンクにポリ袋を敷くか、排水フタで栓をして、35～40℃の湯をため、中性洗剤を溶かします。
- その中につけて5～10分おき、汚れがゆるんだらスポンジか歯ブラシにクレンザーをつけてこすります。
- お湯で洗い流し、水気をふき取ります。

<バーナーキャップ>

- 竹串を穴にさし込んでそうじします。汚れを放っておいて目詰まりを起こすと、熱効率が低下したり、不完全燃焼の原因にもなるため危険です。

トッププレートの種類

ホーロー

金属の表面にガラスを焼きつけています。汚れがこびりつきやすいので、汚れがついたら早めにふいてください。

ステンレス

丈夫ですが、ナイロンタワシなどでこすると傷がつきます。布か柔らかいスポンジにクリーナーかクレンザーで磨きます。

フッ素コート

汚れを取りやすくしたコーティングです。固いものでこすると剥げるので、乾いた布か柔らかい紙で汚れを取ります。

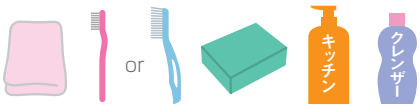
結晶化ガラス

ガスコンロ

IHクッキングヒーター

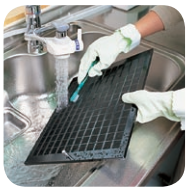
耐熱性が高く、なべなどを落としても割れにくいガラスです。汚れがひどいときは、アルミホイルを丸めてクリームクレンザーをつけて、こすり取ります。仕上げは水ぶきしてからぶきします。

汚れ 8 レンジフード



柔らかい布、歯ブラシ or レールブラシ、スポンジ、台所用中性洗剤、クリームクレンザー

＜フィルター＞

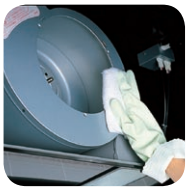


- 取り外して、ぬるま湯をかけて汚れをゆるめ、ぬらした歯ブラシかレールブラシでこすります。
- スポンジに中性洗剤をつけて磨き、洗い流して水気をふきます。

＜取り外せる部分＞

- 電源を切り、換気扇、シロッコファン、整流板、オイルパックなどを取り外します。
- ぬるま湯をかけて汚れをゆるめ、スポンジに中性洗剤をつけて洗います。落ちにくい汚れは、歯ブラシにクレンザーをつけて洗います。洗い流して水気をふきます。

＜取り外せない部分＞



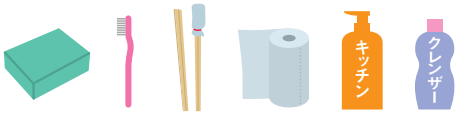
- ぬるま湯で固く絞った布でふきます。
- しばらくおいてから、中性洗剤をぬるま湯で薄めた液に布をひたし、固く絞ってふきます。水ぶきしてからぶきします。

！注意

- 必ず電源を切りましょう。
- 商品によって取り外せる部分が異なりますので、取扱説明書などで確認してください。
- モーター部分には、水や洗剤をかけないでください。故障の原因になります。

Help!

レンジフードの油汚れが取れない！



スポンジ、歯ブラシ、割り箸、キッチンペーパー、台所用中性洗剤、クリームクレンザー

- 割り箸などでゴム状になった汚れを削り落とします。
- シンクにポリ袋を敷くか、排水フタで栓をして、35～40℃の湯をためて中性洗剤を溶かします。
- 汚れのひどい部分を下にしてつけ、20～30分おきます。汚れがゆるんだらゴム手袋をして、油汚れをペーパーに取りながら、スポンジか歯ブラシでこすります。
- 汚れが落ちないときは、歯ブラシにクレンザーをつけてこすります。
- スポンジに中性洗剤をつけて十分泡立て、残りの汚れをからめ取ります。
- お湯で洗い流し、水気をふき取ります。

！注意 アルミ部分やフッ素コーティングの部品（スロットフィルターなど）、フード本体の塗装は、酸性･アルカリ性の洗剤が苦手です。布に含ませてふく程度なら、すぐに水ぶきすれば大丈夫ですが、つけ置きしたりすると変色したり、塗装が剥がれてしまうことがあります。